



一般参加で初マラソンに挑んだ福士がトラックから積極的に先行する



1キロ地点。集団から早々と抜け出した福士



大阪のメインストリートの御堂筋・新橋交差点の折り返し地点。福士が独走。後続に2分以上の差をつける



一人旅を続ける福士を追う、ヤマウチ（左端）や森本（左から2番目）ら第2集団



25キロ地点。スペシャルドリンクを手にしたマラソン2度目の太平（中央）。前を行く福士を追う



2時間25分10秒の自己ベスト(当時)でマラソン初優勝を飾ったヤマウチ。マネージャーで夫の成俊さん(左下)と喜びを分かちあう。マラソン10戦目で初の栄光を手にした。



30キロあたりから急激にペースの落ちた福士(左)を35キロ手前でヤマウチ(右)が捕らえる

北京五輪の代表選手選考会を兼ねた第27回大会。大会史上最多の400人が参加し、長居陸上競技場で熱い戦いの火蓋が切っておとされた



戦いを終えた選手たち。互いの健闘を讃えあった



3年連続出場の森本は日本人トップの2位でフィニッシュ



競技場で3度転倒しながらも完走した福士。19位に終わった

PlayBack 2008